

## 令和8年度第1回学校運営協議会議事録

令和8年6月8日（月）

記録者 吉田 新一

1 開催日時 令和8年5月27日（水）14:30～15:55

2 開催場所 岩手県立大東高等学校 会議室

3 出席者

菅野 佳弘様 摺沢市民センター所長

足利 勲様 大東高校同窓会長

菅原 正浩様 一関市立大東中学校長

佐々木利彦様 一関商工会議所長

小島 誉洋様 トータルインテリア創美 代表

山谷 英樹様 一関市役所大東支所次長兼地域振興課長

小野寺一喜様 一関市社会福祉協議会大東支部 主幹

佐藤 柗平様 一般社団法人いわて圏代表理事

三浦 幸哉 校長 吉田新一 副校長

（吉田義紀事務長、オブザーバー参加）

4 校長挨拶

- ・今年度新入生14名を迎え、全校生徒88名、私を含め新任職員3名加えた職員36名の体制でスタート。少人数ながら、一人一人が個性を磨き、夢の実現に向けて学校生活を前向きに送っている。
- ・高総体の前期日程で弓道部男子団体が5位と健闘、他の部も全力で臨んだ。中心会期でも半分の部が出場。文化部も、ワープロ部が県大会に出場し、鹿踊部が地域で演舞を披露し、皆様に元気を届けている。
- ・本校の教育活動は地域の皆様の存在なくして成り立たない。大東中学校との連携や8月予定のインターンシップ、大原水かけ祭り、情報ビジネス科のチャレンジショップなど、多くの場面で支えられている。地域全体が学びの場であると実感している。
- ・4月、県の学校再編計画が公表され、本校にとって厳しい状況。こうした時こそ、切磋琢磨の精神で一人一人の可能性を信じ、これまで以上に質の高い教育活動をしていきたい。今年度100周年記念式典を控えている。卒業生による特別授業を、全5回中2回実施した。

5 学校概要説明（資料で説明、委員からの質問はなし）

6 協議

○事務局より

協議の進行は会長が進めることとなるが、今年度の会長及び副会長を選任していない。よって、まず役員選出をご協議いただきたい旨、委員に対して提示した。

→このことについて、委員からは異論なく、当該議題から協議することとなった。

(1) 役員選出

立候補者はなかったことから、事務局より案が示され、昨年度同様、会長に菅野佳弘氏、副会長に小原玉義氏を選出。(この後、会長が進行を務める)

(2) 本協議会の設置目的及び活動概況について(資料で説明、委員からの質問なし)

① 学校運営協議会の設置等に係る規則についての確認

② 本校における設置目的等 ③ 本校の外部機関との連携事業 ④ 活動概要

(会長)

「大東高校プロジェクト会長」が変更になる。また、地域安全指導・防災教育の連携先に摺沢駅があるが、摺沢駅が無人駅となり、さらに単線化され待合室には時計も時刻表もない。地域住民が時計を寄贈してくれたが、待合室への設置に許可が下りず、隣の摺沢出張所に設置。時刻表は摺沢市民センターに掲示。

(A委員)

資料中の「一関商工会」の記載を「一関商工会議所」に訂正してほしい。(事務局、訂正を受け入れる。)

(3) 令和8年度学校経営計画等について

(説明：校長)

学校経営計画について、「1学校目標」「2スクール・ポリシー」「3連携・魅力化協働パートナー」「4目指す学校像の今年度の重点目標」は昨年度から変更なし。重点目標イに係る達成指標の進学希望の達成した生徒の割合を、浪人する場合もあり得るので若干下げて90%とした。同じく重点目標エに係る達成指標を、定期的なアンケート調査と面談の実施と、いじめ防止や早期発見に努めているかという学校評価アンケートの結果を合わせて80%以上と変更した。重点目標カに係る達成指標である相談体制と、人と違うことを尊重されると生徒が感じる割合という指標に変更した。「4目指す学校像の取組方針」については、昨年度からの変更はない。「5業務量管理・健康確保措置」は今年度新たに追加になったもの。3つを目標に掲げた。

特色化・魅力化ビジョンについて、これを現在大きく変更をかけているところ。委員の皆様にお諮りしたい。但し、教育活動の中身は大きく変わっていない。アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、グラデュエーション・ポリシーを矢印で記して見える化を図った。少人数を生かした個に応じた学びが本校の特色化と捉えている。総合的な探究の時間を本校では「琢磨台学」と名称をうっているが、これを大きく表記した。この探究的な学びを少しずつブラッシュアップしていきたい。但し、今年度の教育課程は決定しているので、段階を踏みながら少しずつ魅力的なものにしなければならないと考えている。委員の方々から、地域の伝統文化や産業の体験に関して、お知恵をいただければ有り難い。地域には東山和紙、秀衡塗り、狛鼻溪の船下りなどあるが、生徒たちがどこまで理解しているか、体験しているか、あるいは愛着や郷土愛を持っているか計れないので、こうした点を確認していきたい。

(B委員)

探究的な学びについて協力させていただいているが、この数年の間でこの琢磨台学、総合的な探究の時間をどのようにしたいかなど、赴任されてみて、また他校と比較してみてどう思われているか、あるいは地域との協働関係を、どう作るかなど、感じられていることをお聞きしたい。

(校長)

今年、様々なことを変えることは難しい。少しずつ付け加えていきたい。赴任して思うところは、学校に根付いている伝統等を生徒たちが理解し、大切にしていると思っている。琢磨台学が見えにくくなっているの、大きく見えるようにしたい。地域の伝統文化や産業を取り入れて、自分の街がいいところだと思うような、郷土愛が生まれるような取り組みにしたい。

(B委員)

今年度の関わり方を考えていく中で、バックアップできればと思う。

(校長)

生徒がインプットする機会は多いが、探究のまとめ発表などアウトプットをブラッシュアップさせたい。室蓬ホールなどを活用した発表の場の創設なども考えられるが、徐々に進めていきたい。

(会長)

中学生向けの「魅力化」の説明などは必要か。

(C委員)

特に必要であるとは思わない。中学生の目線で「魅力化」はわからないと思う。これは他校についても同じ。進路選択の際に「魅力化」をどの程度重要視するのかについては生徒個々に異なる。部活動優先、通学距離、兄弟姉妹からの学校に関する情報などが有力かもしれない。しかし、大東高校でこうした学びができる、ということを伝えていかないと生徒たちは分からないと思うので、生徒たち目線で魅力化を伝えることは必要である。7月の学校説明会やオープンスクールの印象は強いようだ。昨年、大東高校生が中学生と交流できたことは良かったと思う。但し、単発では浸透しないので、大東高校の良さや学びが自分たちの将来に繋がることを中学生目線で分かるように話してもらうことが大切ではないか。

(B委員)

7月の高校説明会の日程は決まっているか。

(C委員)

決まっている。各高校に連絡しているが、今年は7月3日の実施。例年市内の8高校にお願いしている。

(B委員)

初めて話す、志願者減少のこともあり、カメラマンでインフルエンサー的な人気があ

る方に大東高校生の写真を撮ってもらい、大東高校のビジュアルブックのようなものを作れないか、というようなことを若手 20～30 代の OB・OG の間で話題となった。楽しそうな様子や学校のいい雰囲気を写真集のようなもので、中学生や地域の方に知ってもらうこともあっていいのではないか。

(会長)

佐藤委員からの話にあったようなものの内容のチェックは高校として必要か。

(事務局)

生徒の肖像権がネックとなるので、その点がクリアできれば特段問題はないかと思う。

(B 委員)

弊社は制作に係る保護者からの許諾を得るための文書を準備できるので、先生方に配付の協力はお願いすることになる。

(会長)

きちんと確認を取って、1つ1つクリアすることでの対応となると思う。

(会長)

資料掲載の AI を活用した学習支援について、具体的にどのような取り組むのか。

(校長)

ICT の活用について、一人一台端末を購入して入学することを基本とし、未購入の場合は県で一台ずつ貸与。授業で毎時間使う場合もあれば、調べ学習等で使う場合もある。AI については、情報ビジネス科と普通科の就職コースのソフトウェア活用で触れる。チャット GPT などを利用して、プロンプトを入れながら AI が回答したのものをもとに次の学習に生かしたり、自分が作成したものを校正してもらったりするなどの活用となっている。また、DX ハイスクールについては、国の予算がついた場合に申請ができるもので、その準備も進めたいと考えている。CANVA を教諭と生徒が使えるように県が準備をしている。

(4) 大東高校教職員働き方改革アクションプランについて

(校長)

これについては、県教委及び各校で作成している。時間外在校時間が 80 時間以上の延べ人数が昨年度は 1 名（1 ヶ月）。4～6 月の部活動従事が主なもの。年次休暇の取得状況は昨年度比若干下がった。声掛けをして代わる代わる、お互い様の精神で休めるようにしたい。ノー残業デーについて、県職員は毎週水曜日としているが、教職員は自分の都合で早く帰る日を設定するように声掛けをしている。時間外在校時間は 45 時間未満、年次休暇の取得は 16 日以上を目指す。会議ではペーパーレスで、部活動は部活動指導員等の協力を得て負担減を図っている。

(会長)

時間外在校時間は一般的にいう残業時間か。

(校長)

教職員は残業手当がなく、教職調整額 5% が支給されている。土日は部活動指導をすれ

ば勤務時間は跳ね上がる。但し、県立学校は週 1 回、年間で平均週 2 回部活動を休むようにしている。

(会長)

ノー残業デーの場合、当該日の業務は他の人がするのか。

(校長)

教科指導に関するものは他の人にお願いするということはなかなかできないが、分掌業務については、振り分けながら対応できる。

(会長)

中学校はどうか。

(C委員)

部活動指導については、地域や保護者の方々にお願いしているのですが、かつてのような土日休みなし、ということはない、土日のどちらかは休み、時間も 2 時間以内としている。時間外在校時間については個人差がある。仕事は際限なくあるので、ワーク・ライフ・バランスを考えて行かなければならない。

(5) 令和 8 年度学校行事について

(事務局)

10 月 10 日に 100 周年記念式典、OB の方が記念講演を実施する予定。講演に先立ち、4 回の特別授業を計画し、すでに 2 回実施した。年間予定表には記載されていないが、11 月 5 日、摺沢市民センター様のご厚意で、県警音楽隊のコンサートに招待されている。

(会長)

11 月 5 日、1 回講演で実施。吹奏楽部と一緒に演奏する予定。一般の方々も鑑賞できるように進めている。市民センターとコラボすればできる事業があるかも知れないので、声を掛けて欲しい。

(6) いわて留学について

(事務局)

県外在住の生徒が県内の公立高校を受検する際、原則一家転住が条件となるが、いわて留学は生徒一人での転住で可とする制度。具体的には 3 つの制度に分けられるが、地域ふるさと振興校という枠に 5 月 19 日付で申請した。居住環境が整っていることが条件。大東支所及び大東高校プロジェクトの協力を得て、条件に必要な居住先を確保いただいた。尚、提示した居住先でなくても、学校近隣にある祖父母宅からの通学も可能となる。

7 その他 (以下、資料で説明)

- ・大東高校創立 100 周年記念プログラム「創造力の第一歩塾」について
- ・今後の学校運営協議会について
- ・令和 8 年度地域とともにある学校づくり推進フォーラム (地区別会場) について
- ・いわて CS アドバイザー派遣事業について